

泉南走ろう会

連絡先
泉南スポーツ社
0724 (83) 46653

一人では何も出来ない私

徳山 早苗

今回の、「山口秋往還マラニック」に参加するにあたって、自分の身体の、体力、経験、その他いろいろの面における不安があり、何度も自問自答しながらも、何回となくインターネットで資料を、取っていた。たまたま知っていたら、石井さん。ご自分の大切な時間を、犠牲にして何回となく長距離を、つき合って下さる岡田さん達の、熱意にたかく、やってみようと思いがかりの参加となりました。

参加することに、反対しておりました主人もエントリーをすませたのを知り山口県の地図を買い求め主催者側のコース地図と照らし合わせ綿密にチェックを始めました。

当日、夕方6時のスタート、不安のあった深夜の道も、流れについてゆき翌朝明るくなるまでは、なんとか、疲れもせず勝手気ままな私のペースに岡田さんが合せて走っていた大きくりアすることが出来ました。

なだいなだの最高100KMを過ぎ未知の世界にはいると、楽しいはずのマラニックも岡田さんや、石井さんに出会っても話す気力もなくなりただ、ただ前へ前へと進むのみ、少しづつ前へ進み待っていてくれる、主人にもつまらぬことで、怒る始末、なんと情けない、何の為のマラニックか？

走り初めて3時間近くなつた5月3日19時過ぎ、飯所のある177KM地点に到着、相当痛んだ身体を一時休養あえるためお風呂に入り、食事をすませる。足が腫れた石井さんサポートでこまで来てくれた。この時岡田さん到着、主人と3人ヒールで乾燥機を各自にこの時は我儘。

夕方7時過ぎから降り始めた雨は、雨足を強めに天気予報の通り風を伴い始めましたかたかく、仮眠を勧められ身体を休める事としました。

元気に到着した岡田さんは、「もう走れない、足が上がりません」と言うものの1時間か2時間したら「いきますか」といわれる言葉を期待しつつ床につくが興奮しているのか眠れず、22時すぎ、ともに走ってくれた人をさがすが誰も出発しそつにない。やっと同意をえた人はとてもペテランらしく、つかれているといながら、山をとんとんかけ上がり、300から400mある急な坂道を一気に駆け降りる人について行くことは、迷惑をかけるのではと、弱気になり先について頂くことにした。

雨はだんだんひどくなり風も静かな夜故、台風並の強さを感じる、この先は車も入れないという、先ほどの人の言葉を思い出したし、車であつてくれる主人も求めなくみると、一人で前後に誰もいない風雨の強い深夜の道を地図を見ながら走るのには、自分には無理だと、あっさり断念。

今おもうは、なぜそんなに簡単に、やめてしまったのだらう、と思う。身体が前に進まないわけでもなく、足も何処かどつどつとした痛みも覚えず3日間という貴重な時間を提供してくれた主人のこと考えず残念でならないのであるが、あの時が自分の身体にとって一番、いい引き時ではなかったかと思つた。(又の機会がある)

地図を見るのが全く苦手で、いつもすべてお聴きされている道筋をたたひたすら、走ることに慣れた自分が慣れなく、このマラニックに参加することに

際し長距離を走る時は、私の疲れを、それとなく察し「歩きますか」少し時間がたてば「一寸歩きますか」と言いながら糖菓を共にして下さつた岡田さん。マラニックに参加することを前向きに勧めて下さつた石井さんや、走る仲間の方友友友友友友友友。また陰ながら支えてくれる主人や家族に感謝すると共に、250KMという距離を走り出来なかつた(しなかつた)自分についていろいろ思い知らされる意義あるマラニックであつたと思ふ。

最後に、この様な200KM近い距離を走り、歩き出来る健康な身体をこの世に(与えてくれた)母に感謝!

(又、来年があるぞ)

マラニック、1日後の感想です。



お知らせ

一、例会
六月十三日 九時集合
場所 種河神社
コース 未定

六月二十七日 九時集合
場所 種河神社
コース 未定

二、泉南走ろう会の親睦大会参加について
先月の機関誌でお知らせしました、親睦大会参加の件についてですが、従来から参加していた、神鍋高原マラソンが良いのではとの意見が多く神鍋に参加する事に決めたいと思います。

開催日は、八月二十九日です。大会参加を希望される方は、申し込み用紙を取り寄せ送付しますので、事務局(岡田)まで連絡ねがいます。また現地へは一緒にいきたいと考えます。参加される方は、出来るだけ前日の移動で二泊し、親睦を図りたいと思いますので宜しくお願ひします。
宿泊は、以前から何回も利用している「神鍋屋」を考えています。

三、大会案内
和歌山城高野山ウルトラマラソンについて

昨年この大会は、台風のために中止となり参加申し込みをされていた方に取つては、非常に残念な思いをしたことだと思ひますが、早いもので、もう今年の申し込み用紙が送られて来ました。この大会、主催者である西峰さんの人柄を象徴するように和やかで気楽に参加出来る大会です。走ろう会のメンバーにもウルトラをこの大会で初完走し自信を持たれた人が何人かいます。スタートも自分の力に合わせて早くすることも可能です。そして何よりも楽しみなのはゴール後の風呂と、炊き出し、ビールの飲み放題です。また何と一つも近い事が一番です。まだウルトラを走られた事のない人、完走されていない人、是非参加し、完走の感激を味わって見ませんか!

四、ホット情報

昨年の四月初め、仕事に足場から落下し右足首を複雑骨折、治療、リハビリに励んでおられた石川さんが、ようやく回復し、約一年ぶりに例会に参加されました。これから一段と暑くなりますが、無理をしないで頑張りてください。これで又、例会で一緒に走れることができ楽しみです。